

## ひやざき雅也を応援する会の会員の皆様へ

いよいよ秋も深まり夜寒を覚えるこの頃、貴台には益々御清栄にて御活躍のこととお喜び申し上げます。

さて、11月15日に北杜市長選挙が執行されます。それに向けてわたし、ひやざき雅也は後援会会報を相次いで発行し、それを携えて市民の皆様の間を廻り、政策提言を行うなど、活動を続けて参りました。そうしていたところ、同じく北杜市長選挙に立候補を予定されている上村英司氏から、「飛矢崎さんと合同したい。」というお願いをいただきました。

それによると、「移住者の本当の気持・考えについて、飛矢崎さんを通して知りたい。」「大局的観点から平和な経済国家をつくり上げる礎を築いた石橋湛山を尊敬する者どうしとして、日本国憲法の平和主義を実行していきたい。」というお話でした。

この依頼を受けて、わたしは熟慮、検討した結果、これに応じることを決めました。その理由は、この2年間上村氏がわたしの主宰する「市民政治塾やまなし」や「近現代史学習会」、「政治家の学校」に出席され、わたしの理念に理解を深められ、その上でわたしの理念と政策を実現したいとお話を持ってこられたこと。停滞した北杜市政を刷新することで一致したこと。そのために、従来にとらわれない発想で、彼自身が新しいことに恐れることなく挑戦することを約束されたからでした。

そして合同するに当たって、わたしたちは次の四つの政策協定を結ばせていただきました。

- ①医療・介護・教育現場で働く人びとから始まって、受けたい人が受けられるようなPCR検査体制を行政として整備すること。
- ②学校と地域との協働により、子どもの多様性を認め、少人数であることを活かした教育を行うこと。
- ③従来の保育・教育に係わる公的支援が受けられない認可外保育・教育施設に対し、従事者の処遇向上を目的として助成を行うこと。
- ④北杜市は自衛官募集協力のため、若者の名簿を作成し、自衛隊山梨地方協力本部に提出することを中止すること。

上村氏と話し合ううちにそれまで抱いていた幾つかの疑問も氷解しました。そして一緒にいろいろ協働できる余地が大きいことが分かりました。少子高齢化、人口減少、財政難、新型コロナウイルス感染拡大など、北杜市は現在大きな課題を抱えています。こうした課題に向かい合いながら、持続可能な地域をつくっていくために、二人が合同することによって北杜市政に貢献できるということで一致しました。

わたしを支持していただいている皆様には誠に恐縮ですが、政策協定を御理解いただき、この度の北杜市長選では上村英司氏を支援いただきたく、お願い致します。

今回の合同に当たって、わたしと上村氏との特別講演会を企画させていただきました。こちらにも御参加いただけましたら、幸甚です。

○日時○2020年10月31日(土)午後7時○須玉ふれあい館会議室

○2020年11月1日(日)午後2時○甲斐駒センターせせらぎホール

どうか引き続き、御支援をいただき、市民にひらかれた、市民がつくる新しい北杜市政を、一緒に実現しましょう。

2020年10月26日

飛矢崎雅也